

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	05	子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携		相原/飯村/大平	64813/64851	

事業の概要								
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育てに関する講座等を開催する。</li> <li>初めての赤ちゃんを育てる母親の育児に対する不安感、孤立感を軽減し、早い時期から子育ての仲間作りができる場を提供する。</li> <li>川崎市助産師会と連携(委託)し、初めて母親・父親になる保護者で平日に参加できない方を対象とし、プレパパ・プレママ講座を実施する。</li> </ul>						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—					
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多い。そのため慣れない地域での子育てに不安感や孤立感を抱えての育児を防ぎ、当事者の育児力を向上させるため、地域ぐるみで支援を行う必要がある。また、共働き世帯の増加により父親の育児参加の促進が必要である。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	645	558	676	471		
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	645	558	676	471		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の親子等が交流・学習する機会やさまざまな場の提供をし、父親の育児参加の促進や子育て力の向上を図り、子どもが健やかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援講座(10月、11月に月2回実施)</li> <li>親育ち支援事業(6月、10月、2月に各4回/月実施)</li> <li>初めて保護者になる人向け講座「もうすぐパパママハッピー講座」を開催(6月、10月、1月に各1回/月実施)</li> </ul>

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援講座は、父親の育児参加向け講座を4回連続講座として実施。親子6組参加</li> <li>親育ちプログラムにて、4週連続の参加型講座を3回実施。計母子60組が参加</li> <li>「もうすぐパパママハッピー講座」3回実施 計32組が参加</li> </ul>						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	子育て支援講座	目標	3	3		回
			実績	3	4		
	2 活動指標	親育ち支援事業(4週連続講座)	目標	3	3		回
			実績	3	3		
3 活動指標	もうすぐパパママハッピー講座	目標	3	3		回	
		実績	3	3			
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習や父親の育児参加を促進させることが必要とされている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	「もうすぐパパママハッピー講座」について、助産師会の委託事業から助産師を講師として直営で事業を行い効率化を図った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習や父親の育児参加を促進させることが必要とされている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	講座の開催を通じ、子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習や父親の育児参加を促進により子育て当事者の育児力向上させることが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	常にニーズの把握に努め、子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の子育て力の向上となる視点で各事業を企画・実施していく。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	10	子育てネットワーク推進事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			675000	地域ケア推進担当/保育所等・地域連携		飯村/大平	64813/64851		

事業の概要							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の子ども・子育てに関わる関係機関・団体等が情報交換や課題の共有等を行い、ネットワークの推進を図る。</li> <li>子育て世代の転入者に向けて、地域情報・子育て情報の提供と参加者同士が交流できる場を提供する。</li> <li>幼稚園・保育園・小学校がお互いの保育・教育内容について理解を深め、発達の連続性を踏まえた子どもの育ちの支援を行う。</li> </ul>						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
	平成27年度	—					
地域の課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>高津区は出生数、子育て世代の転入者が多い。知り合いのいない慣れない地域で孤立感、不安感を抱えた保護者に対し、地域や子育て関係施設と連携して支援を行い、子育てしやすいまちづくりを目指す必要がある。</li> <li>認定保育園に幼児が在籍するので、連携推進事業の対象を拡大する必要があること。また、子どもの育ちの連続性を踏まえるためには、中学校との連携も視野に入れる必要がある。要綱を変更し、課題に対応できるよう関係機関にアプローチしていく。</li> </ul>						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	708	552	846	522		
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	708	552	846	522	

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>区における子ども・子育て支援を進めるために、地域の関係機関等が連携し、子育て親子の交流の場の提供や区内の子ども・子育て支援のネットワークの推進を図ることで子育てしやすいまちづくりを目指す。</li> <li>幼保小連携推進事業…認可認定保育園、幼稚園、小学校の職員相互の理解の深化、幼児・児童の交流の推進、保育・教育の内容の情報共有を図る。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育てネットワーク会議…子どもに関わる団体、関係機関等による会議、および各課題に応じた部会を開催し、情報交換や課題の共有、協議等を行う。</li> <li>転入者子育て交流会を開催し、地域の子育て情報の提供や参加者同士の交流の場を提供する。</li> <li>幼保小連携推進事業…代表者連絡会2回、園長校長連絡会、実務担当者会議(講演会含む)、小学校の行事参観15校、実習研修39園、スタートカリキュラム2校、小学校授業参観・懇談会15校</li> </ul>

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った				
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った				
		3. ほぼ目標どおり					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク会議は、本会議4回、情報部会3回(子育て情報ガイドブックの編集等)、子育てグループ支援部会7回(子育てグループ交流会の企画実施、子育てグループの活動上の課題把握等)、研修・企画部会3回(研修会の企画実施)を開催した。</li> <li>転入者子育て交流会は春に3回、秋に3回実施計284人参加。</li> <li>幼・保・小連携推進事業は、代表者連絡会2回(4月・2月)、園長・校長連絡会1回(6月)実務担当者連絡会1回(7月)、実習研修(7月～9月)、小学校行事等参観(5月～1月)、小学校授業参観・懇談会(10月～12月)を実施した。小学校授業参観・懇談会は延べ426人が参加。</li> </ul>						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	転入者子育て交流会の開催	目標	6		回
			実績	6	6		
	2	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催	目標	4	4	回
			実績	4	4		
3			目標				
		実績					
4			目標				
		実績					

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育てに対する不安や孤立した育児を防ぐために、地域の関係機関や団体等と連携し、地域とのつながりをつくる場の提供や、子ども・子育て支援のネットワークの推進を図る必要がある。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育てに対する不安や孤立した育児を防ぐために、地域の関係機関や団体等と連携し、地域とのつながりをつくる場の提供や、子ども・子育て支援のネットワークの推進を図る必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民、関係機関、団体等と協働で区内の子ども・子育て支援について協議し、各事業を協働して実施した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	子ども・子育てネットワーク会議については、今後のネットワークの担い手発掘に努めるとともに地域の子育て環境の変化に対応した部会のあり方等について検討し、部会の活性化を図るよう努めながら継続実施していく。幼・保・小連携推進事業では、代表者会議等で情報共有を図り、相互の理解を深めながら事業推進していく。転入者交流会では、常にニーズの把握に努め、子育て当事者の子育て力の向上を図るよう努めていく。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	15	子育て情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携		川野/大平	64814/64851	

事業の概要								
事業の概要		子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報をガイドブックやホームページを通じて提供し、より親子のニーズに合った情報を提供するために、子育て中の親と行政が協働して情報紙を発行する。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—					
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
事業費			2,031	1,850	2,437	1,958		
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	2,031	1,850	2,437	1,958		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように適切な子育て情報の提供を行う
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内地域子育て支援センターリーフレットの発行</li> <li>子育て情報ガイドブック及びホームページの作成・更新</li> <li>地域子育て情報紙「あったかつしん」の発行</li> </ul>

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・地域子育て支援センターリーフレット5,000部発行 区内保育園、子育て関係機関に配布 ・子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の情報を更新し、7月に7,000部発行。ホームページは随時更新 ・子育て情報紙「あったかつしん」を年間6回、各2,500部発行							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	区内地域子育て支援センターリーフレットの発行	目標	実績	5,000	8,000		部
	2 活動指標	子育て情報ガイドブックの発行	目標	実績	8,000	7,000		部
	3 活動指標	ホッとこそだてたかつホームページアクセス数	目標	実績	9,042	9,428		件
	4 活動指標	地域子育て情報紙「あったかつしん」の発行年間6回	目標	実績	各2,500	各2,500		部

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。情報を収集する方法として紙媒体から電子媒体へ移りつつある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 29 年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
	「あったかつしん」について、子育て世帯の多くがインターネットから情報を取得するため、規模を縮小することで委託から直営にし、より効率的な発行を目指す。 発行部数を2000部×6回 1部4ページに縮小		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することで、広く情報発信・提供することが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	「あったかつしん」について、子育て世帯の多くがインターネットから情報を取得するため、規模を縮小することで委託から直営にし、より効率的な発行を目指す。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報をガイドブックやホームページを通じて、引き続き提供する。また、「あったかつしん」については、子育て世帯の多くがインターネットから情報を取得するため、規模を縮小することで委託から直営にし、より効率的な発行を目指す。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	20	高津区子ども・子育てフェスタ事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域ケア推進担当		飯村	64813	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>	地域における子育て関係機関・団体等や区民と協働し、高津市民館全館で終日、子育て関連のイベントや子育てグループ・サークル等の紹介、親子交流の場の開催、保育園児の作品展示などを実施する。						
<b>実施期間</b>	<b>事業開始年度</b>	<b>事業終了年度</b>	<b>予算中事業</b>	総合的な子ども・子育て支援事業費			
	平成17年度	—					
<b>地域の課題と現状</b>	子育て中の保護者の不安や悩みが多様化しているが、孤独感を感じず、子育てを楽しめるよう地域全体で子育て支援を行っていく必要がある。						
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	<b>H27年度</b>		<b>H28年度</b>		<b>H29年度</b>	
		<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>
	<b>事業費</b>	500	431	500	348		
	<b>財源内訳</b>						
	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	500	431	500	348		

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	各種子育てグループ・子育て支援団体等の活動展示・イベント等を実施し、地域の子育て情報を提供することにより、高津区における市民と行政との協働による子どもの育ちを地域で支えるネットワーク作りの一助とする。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援機関、団体、子育てグループ、地域子育て支援センター等の活動内容の展示及びチラシ等による子育て中の保護者や子育て支援に関心のある区民等への情報提供</li> <li>・子育て中の保護者等参加者が交流を深めることができるイベント、親子で楽しめるイベントの開催</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
<b>取組内容の実績等</b>	11月19日に高津区子ども・子育てフェスタを開催。乳幼児から小・中学生の子どもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などを紹介する展示、コンサートなど子ども向けの催し物を開催。当日の天候が雨だったため、車いすの方の来場は少なかったが、来場者1,500人、参加団体68団体となった。					
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<b>指標分類</b>	<b>指標</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>単位</b>
	1 成果指標	子育てフェスタ(来場者)	目標 実績 2,300	2,300 1,500		人
	2		目標 実績			
	3		目標 実績			
	4		目標 実績			

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育てのネットワークに入れず育児不安を持つ区民も多いことから、地域の子育てネットワーク参加につながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出席団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることが必要である。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育てのネットワークに入れず育児不安を持つ区民も多いことから、地域の子育てネットワーク参加につながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出席団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることが必要である。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子ども参加があり、父親の参加も多岐にわたった。フェスタの開催を通じて関係団体等との連携・ネットワーク強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができた。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	子ども・子育てフェスタは今年度で12回を迎え、認知度も高まり当区における子ども・子育てのイベントとして定着している。今後は、参加団体などについて調整を行いながら、事業を継続して実施する。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	25	子育てグループ等活動促進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		保育所等・地域連携		瀬戸	64852	

事業の概要								
事業の概要	高津区における子ども子育てを地域で支えあう環境作りとして、自主的な活動を行っている子育てグループを支援するためにニーズを把握し、様々なかたちでの支援を行う。							
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費				
実施期間	平成27年	—						
地域の課題と現状	・核家族化の進行や地域との関わりの希薄化などにより、子育て家庭の孤立化が進み、子育てに対する不安感や負担感が広がっているため、地域で子育てを支えている子育てグループや子育てサロン等への活動支援を行い、地域の子育て力向上を図る必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,040	992	310	259			
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財 一般財源		1,040	992	310	259			

計画 (Plan)	
事業の目的	地域で孤立することなく、安心して子育てできる仕組みとして、在宅で子育てをしている保護者を対象に、同じような年齢の子どもを持つ母親が自主的に運営している地域で子育てを支えている子育てグループや子育てサロン等の活動を支援し、地域の子育て力向上を図る。
今年度の事業の取組内容	①子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きつとみつかると楽しい仲間」を年1回開催する。 ②子育てグループのニーズを把握するために、見学会の開催を年3回以上実施する。 ③子育てグループの活動を支援する貸し出し遊具を周知する。 ④子育てグループを紹介するリーフレット及びマップを作成し、区内各施設、子育て関連事業で配布する。 ⑤子育てグループ活動のアイデアを提供するための研修会を年1回開催する。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	・子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きつとみつかると楽しい仲間」を9月に開催した。 ・グループのニーズを把握するための見学会の開催を年8回実施した。 ・子育てグループの活動を支援する遊具貸し出しを延べ43団体に実施した。 ・子育てグループ活動内容の情報を提供するための研修会を年2回開催した。 どの事業も、目標より多くの参加者や実施回数をごなし、アンケートでは90~100%の満足度をいただき、好評だった。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	子育て交流会「きつとみつかると楽しい仲間」の開催(参加者)	目標	100			人
			実績	119	133		
	2 活動指標	子育てグループ見学会の実施(回)	目標	3			回
			実績	0	8		
3 活動指標	子育てグループへの研修会実施(参加者)	目標	50			人	
		実績	31	83			
4 活動指標	貸し出し遊具事業(利用団体)	目標	30			団体	
		実績	22	43			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	・地域包括ケアシステムの理念のもと、地域の子育て力の向上に向けた支援体制は必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 29 年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 子育て交流会について、委託から直営にすることで、事務手続きの効率化を進める。		
	評価項目	評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	・地域の子育て力向上に向けて、地域の子育て支援者の育成は必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	・事業を継続していることで区民に周知され成果も上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	・平成28年度で子育て交流会の事業委託を終了した。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域包括ケアシステムの構築にむけ、子育て世代の育児力の向上、地域の子育て支援者の育成は必要であると考えられることから事業の目的や方向性を維持、継続することが適切であると考え、子育て交流会については、委託から直営にすることで、事務手続きの効率化を進める。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	30	保育所等地域子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		保育所等・地域連携		新井	64852	

事業の概要								
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て家庭が子育てを楽しみながら育児力向上につながる事業や講座の実施。</li> <li>・公立保育所の専門的な知識・技能・ノウハウの蓄積と伝承。</li> <li>・民間保育所や各団体との連携を図り、効果的、効率的に子育て支援事業を伝承していく。</li> </ul>						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—					
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高津区は出生数、転入者数、子育て世代の割合が全市で2番目に多い。あふれる情報の中にありながらも、地域の中で孤立したり育児不安を抱える保護者が多く存在し、虐待件数、通告件数も年間200件を越えており、子育て支援のニーズは非常に高い。保護者にとって身近な場所での地域支援の拡充が必要である。</li> <li>・待機児童対策の強化に伴い民間保育所が増加しているため、民間保育所への支援が求められている。</li> </ul>						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	1,231	1,147	1,376	1,141		
		財源内訳						
		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	1,231	1,147	1,376	1,141		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育てに悩む在宅の親子に対し、公立保育所が地域の拠点としてのリーダーシップをとり、地域で子育てする保護者の育児力の向上及び、育児不安の解消に努める。また、公開保育研修など場を提供し、保育者のニーズに合わせた支援を行い、人材育成の充実、保育の質の向上につながる取り組みを推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の0才～就学前の子どもと保護者を対象にした「あそんでランチ」を公立保育園2園年16回開催</li> <li>②区内施設において子どもの対象年齢ごとに親子遊びや情報提供、育児相談として「あつまれキッズ」を年36回実施</li> <li>③地域の0才～就学前の子どもと保護者を対象に、遊びの提供を行う「あそびの広場」を公立保育園6園年60回開催</li> <li>④認可保育所に蓄積された育児ノウハウや、地域向け子育て情報を掲載した広場ノートを作成し区内で子育て中の保護者に配布する。</li> <li>⑤公民保育所職員が公開保育を通じて交流するとともに、専門実技研修を実施し、人材育成を図る。</li> </ul>

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った			
			2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った			
			3. ほぼ目標どおり				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あそんでランチ」公立保育園2園、年16回実施。130人参加。</li> <li>「あつまれキッズ」区内施設において年39回実施。1390人参加。子育て支援関係者のスキルアップにもつなげた。</li> <li>「あそびの広場」公立保育園6園、年70回実施。1148人参加。ひろばノートを1300部作成、配布。</li> <li>「公開保育・研修」人材育成のため公開保育6回、研修12回実施。739人参加。</li> <li>あそんでランチ事業では目標参加者数を下回ったが、アンケートでは複数回の開催を望む声をいただき、約90%の方に参加して良かったとの高評価を得ている。また、他の事業では目標より多くの参加をいただき、アンケートでは90～100%の満足度をいただき、好評だった。</li> </ul>						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	あそんでランチ事業の開催(参加者)		目標 98	160		人
	2 活動指標	あつまれキッズ事業の開催(参加者)		目標 712	900		人
	3 活動指標	あそびの広場事業の開催(参加者)		目標 1,027	1,148		人
	4 活動指標	公開保育・専門実技研修の実施(参加者)		目標 661	600		人

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援のニーズの高まり。</li> <li>・待機児童対策に伴う民間保育所の増加。</li> </ul>	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		あそんでランチは回数を1回増やした あつまれキッズは0歳対象のひよこキッズに「アフターひよこキッズ」を追加アフターフォローも行った 公開保育は、民間保育所が参加の予定を立てやすいよう3回のスパンで案内をするようにした	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は出生、転入等が多く子育て支援、人材育成のニーズが高い	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	昨年度に比べ、どの事業も参加者数が増加していることから、一定の成果があったと考えられる	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	内容の充実を図っていくが事務改善の必要はないと考える	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	ニーズも高く、参加者数・アンケート結果からも取り組みについては好評であることが分かる。よって29年度も同様に継続。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	25	15	45	高津区待機児童対策推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675150		児童家庭課		荒井	64873	

## 事業の概要

事業の概要		従前の紙媒体や市ホームページ上で提供してきた保育所に関する情報の充実を図り、個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、映像を用いた保育所案内(紹介)資料の作成、及び保育所施設マップの作成により、情報の充実化を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		社会保障と税の一体改革に伴う「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度からスタートしたことにより、市町村においても、子育て家庭のニーズに応じた子育て支援に関する情報を提供していくことが求められている。本市においても、「待機児童ゼロ」の達成を目指していく上で、利用者にとって必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となっている。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,573	1,573	886	832		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源	1,573	1,404	886	832					

## 計画 (Plan)

事業の目的	利用者が個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、情報提供の充実化を図る。
今年度の事業の取組内容	区内認可保育園及び川崎認定保育園の施設紹介映像(90秒/園)の制作と動画投稿サイト(川崎チャンネル)への投稿による情報提供。高津区子育て施設マップ(改訂版)の作成。

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	区内保育園17園(認可6園・川崎認定11園)について施設紹介動画(90秒/園)を制作し、10月に動画投稿サイト(川崎チャンネル)に投稿・公開した。 また、区内の保育施設を示したマップを3000部作製し、新年度の保育園利用案内と合わせて配布した。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	区内保育園の施設紹介動画の制作と動画投稿サイトでの公開	目標 実績	17 17		園
	2 成果指標	高津区子育て施設マップの作成	目標 実績	3,000 2,000	3,000	部
	3		目標 実績			
	4		目標 実績			

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	認可保育所等への申請者数は年々増加しており、市内で高津区は中原区に次いで2番目に多い。認可保育所等については、毎年新たに新設され、H28年4月現在で55園開所しているものの、入所保留者数は年々増加している。このようなことから、認可保育所等だけでなく、認可外保育所(川崎認定保育園)も含めたマッチングが重要となっている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成29年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 H29年4月から新たに認可保育所の利用を開始した世帯に対して、保育園施設紹介動画に関するアンケート調査を実施し、当該事業の評価・見直しを行う。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	年々保育園が増加しており、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	動画投稿サイトにおける累計再生回数は15,000回を超えていることから、一定の効果があつたと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	仕様については、既に見直しを行い必要最低限の内容としているため、事務改善の可能性はあまりないと考えられる。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	認可保育所等の利用者が増加傾向にあり、それに伴い保育園等も増加していることから、事業の目的や方向性は維持するものの、H29年度に予定しているアンケート調査に基づき、見直し・改善のうえ継続する。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	05	26	15	40	こども未来事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携		飯村/信開	64813/64851

事業の概要							
事業の概要		高津区の地域特性を踏まえ、さまざまな地域資源を活用しながら、ものづくりや多様な人との交流の機会を設け、子どもたちの健やかな成長を支援する。 木とのふれあいの機会の提供を通じ、感性豊かな心の発達を促すとともに、森林や環境問題への理解を育む。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費		
		平成28年度	—				
地域の課題と現状		これまで子どもの居場所作りや学習支援等の事業を実施してきているが、子どもを取り巻く環境は多様化、複雑化しており、既存の支援組織に加え地域での見守りのネットワークを更に密にすることで、子ども一人ひとりが活躍できる場を増やすことが求められている。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	0	0	429	346	
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	0	0	429	346	

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちが地域の中で、さまざまな体験や多様な人との交流をすることで、自身の将来や地域社会とのつながりを考えるきっかけづくりを支援する。 国産木や自然の素材に触れ、子どもの豊かな感性を育む。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども未来体験事業…高津ものまづくり会と区内小学校との協働によりものづくり技術の体験等</li> <li>ピープルデザイン連携事業…ピープルデザイン研究所と連携し、多様な年齢、地域、職種間の交流を実施</li> <li>木育推進事業…木製遊具や木工を通じ、木材に親しむ機会を創出</li> </ul>

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり体験事業は、南原小5年生を対象に、事前学習を11月17日、町工場の見学を11月24日に実施</li> <li>子母口こども文化センター・いこいの家で多世代交流事業を4回、区役所でキッズチャレンジクッキングを4回実施</li> <li>木育推進事業は、区民木育体験としてイスづくりと、からから積み木を使った「もくもくパーク」を4回実施</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	こども未来体験事業	目標		50		人	
			実績		50			
	2 成果指標	ピープルデザイン体験事業	目標		7		回	
			実績		8			
3 成果指標	木育推進事業	目標		6		回		
		実績		7				
4		目標						
		実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。またプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。またプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ものづくり技術の体験や、多様な人との交流、木とのふれあいの機会の提供を通じ、進路や職業の選択肢を広げ、こころのバリアフリーを推進し、感性豊かな心の発達を促すと共に、森林や環境問題への理解を育むことが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	ものづくり技術の体験や多様な人との交流、木とのふれあいの機会の提供を通じ、感性豊かな心の発達を促すなど、引き続きさまざまな地域資源を活用し、自身の将来や地域社会とのつながりを考えるきっかけづくりを支援する。